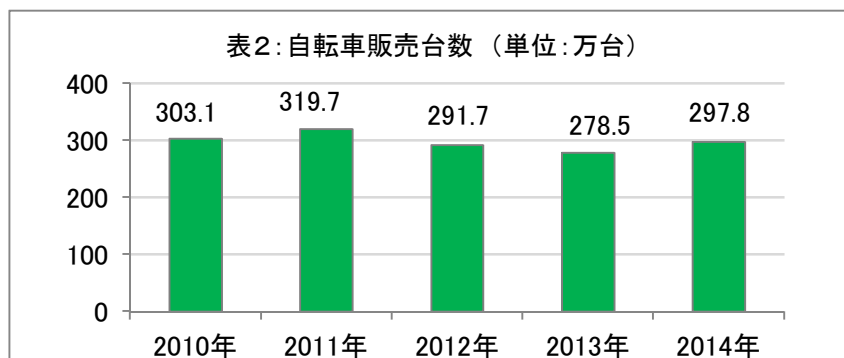
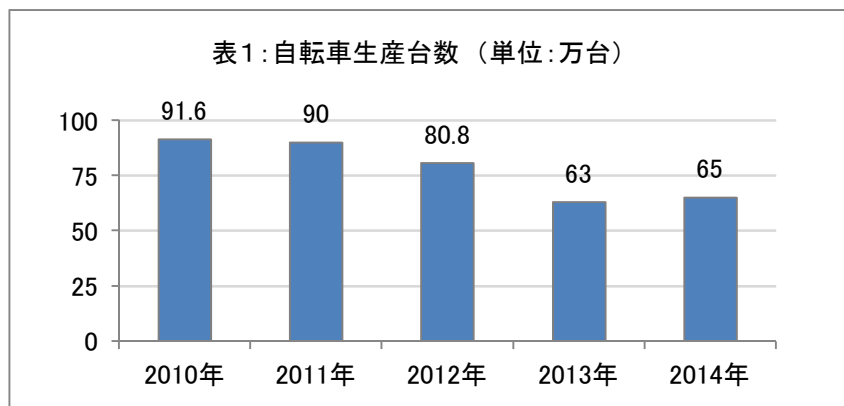
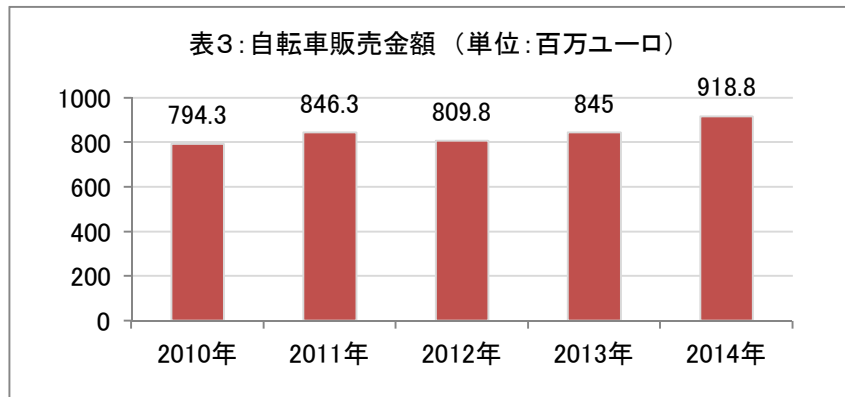


## フランス自転車市況－2014

### 1. 生産及び販売

フランス自転車製造・流通業者評議会(CNPC)によると、2014年フランスの自転車生産台数は前年比3.2%増の65万台となり、大幅な落ち込みを見せた昨年よりやや盛り返した。2014年の自転車販売台数は前年比6.9%増の297.8万台であり、自転車生産・販売台数ともに昨年より増加した。更に2014年の自転車販売金額については、前年比8.6%増の919百万ユーロ(1,241億円)となり、900百万ユーロの大台を超え、過去5年間で見て高い伸び率を見せた。更に部品・付属品(P&A)の販売金額は前年比6.1%増の697百万ユーロ(941億円)となり、2014年のフランス自転車市場は全般的に前年より良い結果となった。





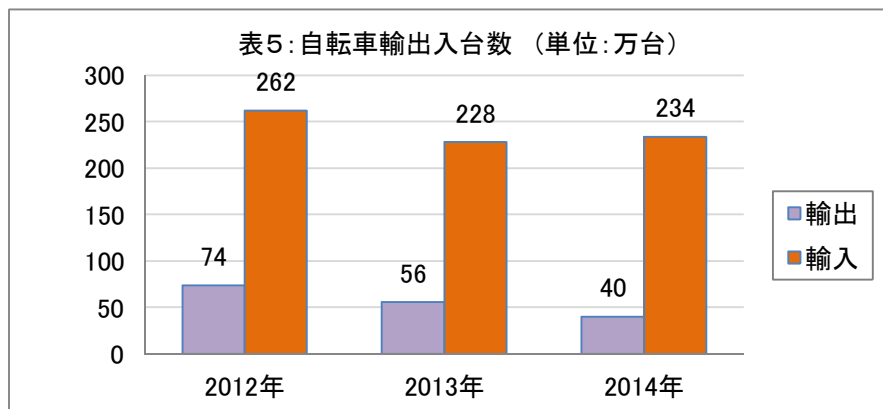
自転車の販売金額増加を受け、2014年の全車種の自転車平均販売価格は前年より4ユーロ(540円)高い、前年比1.3%増の307ユーロ(41,445円)となり、5年続けて上昇した。昨年引き続き300ユーロを超える平均販売価格で推移した主な要因は、フランスでも価格の高い電動アシスト自転車(EPAC)の販売が増えているためとみられる。

表4: 平均販売価格 (単位: ユーロ)

年	2010	2011	2012	2013	2014
平均販売価格	262	265	278	303	307

## 2. 輸出入

2014年のEPACを含む全ての自転車の輸出入について、2014年の輸出台数は前年比28.6%減の40万台となり減少が目立ったが、輸出台数は同比2.6%増の234万台となり輸入はやや回復した。



※上記数値にはEPACを含む

EPACを除く自転車の国別輸出台数で見ると、2014年の最多輸出先はスペインで変わらないが前年比29.8%減の9.2万台となり、それ次ぐベルギーは同比17.8%減の7.4万台、イタリアは同比33.7%減の6.5万台及び英国は同比66.7%減の2万台等、欧州向けの輸出は総じて大幅な減少が多かった。また、昨年上位に顔を出したモロッコは姿を消し、代わりに米国が

浮上した。国別上位の平均輸出単価で見ると、スイス向けは 655 ユーロ (88,425) 円、ドイツ向け 541 ユーロ (73,035 円) と高額であるが、その他は概ね 150~350 ユーロ (20,250~47,250 円) の価格帯に収まっている。

更に EPAC を除く国別輸入台数では、最多輸入先のイタリアは前年比 5.6% 減の 80.7 万台と若干減少したが、ポルトガルは同比 14% 増の 51.4 万台及びルーマニアは同比 44% 増の 19.3 万台等、欧州地域は比較的増加が多い。アジア地域からの輸入は、昨年圏外からパキスタンが 15.9 万台で一気に 4 位に急浮上し、フィリピンは前年比 18.4% 増の 5.8 万台であるのに対し、台湾は同比 16.5% 減の 6.6 万台、スリランカは同比 59.3% 減の 4.4 万台と半減し、昨年上位に浮上したカンボジアは再び姿を消すなど、2014 年もアジア地域における輸入先の変化がみられた。

国別上位の平均輸入単価では、オランダからが 559 ユーロ (75,465 円)、台湾からは 486 ユーロ (65,610 円) 等が高額である一方で、輸入台数が多い欧州のイタリア、ルーマニア、ポルトガル及びブルガリアは 100 ユーロ (13,500 円) 前後にとどまり、更にアジア地域のパキスタン、フィリピン及びスリランカ等は 50 ユーロ (6,750 円) に満たない額となっている。

表6:輸出台数上位 10 カ国 (単位:千台)

2012 年		2013 年		2014 年	
国名	台数	国名	台数	国名	台数
スペイン	245	スペイン	131	スペイン	92
イタリア	133	イタリア	98	ベルギー	74
ベルギー	103	ベルギー	90	イタリア	65
英国	55	英国	60	英国	20
ポーランド	39	ドイツ	28	ドイツ	20
ドイツ	36	ポーランド	21	オランダ	18
スウェーデン	29	オランダ	19	ポーランド	16
オランダ	17	ハンガリー	13	ポルトガル	7
ハンガリー	14	ポルトガル	10	ハンガリー	7
ポルトガル	11	モロッコ	6	米国	6

※上記数値には EPAC を含まない

表7: 輸入台数上位 10 カ国 (単位: 千台)

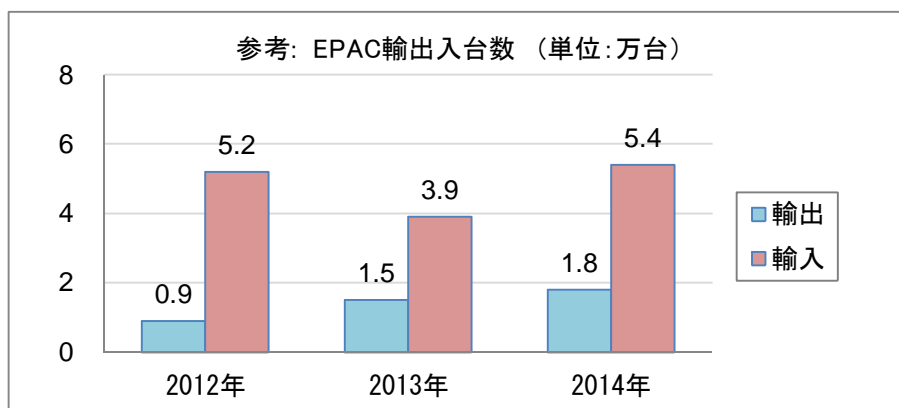
2012 年		2013 年		2014 年	
国名	台数	国名	台数	国名	台数
イタリア	863	イタリア	855	イタリア	807
ポルトガル	499	ポルトガル	451	ポルトガル	514
ブルガリア	254	ブルガリア	152	ルーマニア	193
スリランカ	187	カンボジア	135	パキスタン	159
台湾	166	ルーマニア	134	ブルガリア	149
シエラレオネ	99	スリランカ	108	台湾	66
スペイン	90	台湾	79	フィリピン	58
ドイツ	89	ドイツ	53	ドイツ	57
ルーマニア	56	スペイン	51	スリランカ	44
タイ	51	フィリピン	49	オランダ	41

※上記数値には EPAC を含まない

EPAC だけの輸出入で見ると、2014 年の EPAC 輸出台数は前年比 24.4% 増の 1.8 万台と順調に増えている。EPAC 輸入台数は同比 36.3% 増の 5.4 万台となり、昨年の落ち込みから回復した。輸出台数の増加に伴い、輸出単価は同比 15.7% 増の 929 ユーロ (125,415 円) と大幅に上昇し、輸入単価は同比 7.6% 増の 540 ユーロ (72,900 円) と共に上昇した。

国別輸出では 9 割が欧州向けであり、ドイツ向け 3.2 千台をはじめ、イタリア 2.7 千台、ベルギー 2.4 千台、スウェーデン 2.1 千台及びオランダ 2.1 千台等が上位となっている。更に国別の EPAC 輸出単価で見ると、スイスが 1,647 ユーロ (222,345 円)、ドイツが 1,378 ユーロ (186,030 円) 及び英国が 1,216 ユーロ (164,160 円) 等と比較的高額であるが、輸出台数上位のイタリアは 717 ユーロ (96,795 円)、スウェーデンが 607 ユーロ (81,945 円) 及びオランダは 715 ユーロ (96,525 円) となり、輸出台数の多さに関わらず、輸出単価は 1,000 ユーロを挟んで大まかに 2 つに分かれている。

国別の EPAC 輸入台数はアジア地域から 8 割、欧州地域から 2 割となっているが、依然として最多輸入先は中国であり、前年より 3 割増しの 4 万台となった。中国 1 カ国で全輸入の 75% を占めている。次いでドイツ 7 千台、台湾 1 千台と上位 3 カ国は前年同様である。



### 3. 業態別販売動向

Decathlon 等の大型販売店・大型スポーツ店は、自転車販売台数ではいまでも半数のシェアを占め、自転車小売専門店は2割程とみられる。しかし、販売業態別シェアに関して販売金額ベースでは、大型販売店・大型スポーツ店は2014年には前年より1ポイント増の34%となり、前年までの減少傾向からようやく回復の兆しをみせた。一方、自転車小売専門店は2ポイント減の43%であり、2012年をピークに半数を割り込み2年続けて減少が続いているが、依然として金額ベースでは最多シェアである。これは高額なEPACやスポーツ車の販売が比較的多いためとみられる。なお、スーパーマーケット等の量販は前年同様の8%を維持し、2013年に新区分に加えられたインターネット・通販は前年より1ポイント増の15%となった。

各業態の増減率でみると、今回、最も成長が著しいのはP&Aのネットショップ販売が増えているインターネット・通販で前年比15.5%増となった。次いで大型スポーツ店等が同比10%増、量販は同比4.5%増及び専門店は同比3.9%増である。

表 8: 販売業態別シェア(販売金額ベース)

販売形態	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
大型販売店、大型スポーツ店	38.5%	38.5%	36.5%	33.0%	34.0%
自転車小売専門店	51.5%	51.5%	54.0%	45.0%	43.0%
スーパーマーケット等、量販	10.0%	10.0%	9.5%	8.0%	8.0%
インターネット、通販				14.0%	15.0%

※2013年より「インターネット、通販」の項目追加

### 4. 車種別販売動向

2014年の車種別販売では、主に「レジャー用」に分類される車種のうち、大人向けマウンテンバイク(MTB)は販売比率28.5%を占め、依然として最多販売車種であり、販売数は前年比で17.5%増加した。子供車(ATBを除く)も販売比率19%となり、販売数は同比10%増となった。一方、それに次ぐ比率とされるトレッキング車は同比0.5%減の販売となり、ここ数年は低迷が続いている。更に通勤・通学等の「移動用」の車種については、折りたたみ車は前年比14%増となり年々増加傾向あるものの、昨年大きく落ち込んだシティ車は同比5.4%減となり不振が続いている。

2014年のEPACの販売台数は同比36.9%増の7.8万台となり、例年よりも一段と高い伸び率を見せ、一年で一気に2万台余りも増加した。2014年のEPACの平均販売価格は前年比5.8%増の885ユーロ(119,475円)となった。かつて、仏市場では量販店の安価なEPACが先行していた時期もあったが、2014年は販売台数及び平均価格共に上昇が目立ったことから、自転車専門店の高額な商品が中心となりつつあるとも考えられる。CNPCはフランスでもいよいよEPACブームが本格化したとみて、同車種の今後の成長に期待している。しかしながら、独蘭のようなブームであるとの確証を得るためには、同国のEPAC販売動向をもう少し見守る必要

があると思われる。

表 9: 電動アシスト自転車販売台数 (単位:台)

年	2010	2011	2012	2013	2014
販売台数	40,000	40,000	46,100	56,600	77,500

以 上

統計出所: フランス自転車製造・流通業者評議会(CNPC)